



語る会通信 Vol.50 夏号



市政について何なりとご相談ください。

みなさんこんにちは。今年も本格的な夏を迎えようとしていますが、いかがお過ごしでしょうか？水分をこまめに取りなどとして体調には充分注意して下さいね。九州では豪雨による甚大な被害が発生しました。2015年9月に私たちの住む地域に多くの被害をもたらした関東・東北豪雨は記憶に新しい所ですが、今回の豪雨の原因も線状降水帯による大雨が原因とされています。

今の日本のみならず世界中で、何十年に一度という非日常的な事が、日常化しつつあります。安心・安全な下妻市のためには、どう対策をとれば良いのか？非日常的な事も十分に視野に入れながら、下妻市の危機管理能力を高めていく必要性を強く痛感したところです。

さて、8月には茨城県の将来の方向性を左右する知事選挙が行われます。現職を含む複数の方の立候補が予定されていますが、大切な一票ですのでぜひ投票所に足を運んでいただければと思います。

下妻市においては、下妻市観光交流センターさん歩の駅サン・SUNさぬま や 下妻市にぎわい広場 Waiwai ドームしもつま が完成しました。これらの施設等には多くの予算が投入されたことから、今後の大きな課題としては、費用対効果が最大限になるような施設の有効活用を目的としたソフト面の充実が当然必要となります。執行部にはこれを特にお願ひしたいと同時に、市民のみなさんのご意見や知恵が必要です。ぜひご協力をお願いします。

第2回下妻市議会定例会報告

平成29年第2回下妻市議定例会が6月1日から6月14日までの14日間の会期で行われ、今回上程された22議案、6報告が上程され、全議案 原案通り可決されました。

審議した主な議案

1. 下妻市土砂等による土地の埋立、盛土及びたい積の規制に関する条例の全面改正について
主な改正内容は、条例適用範囲の変更、施工管理の強化及び罰則の強化など
2. 平成29年度下妻市一般会計補正予算について
 - ① 旧東部中学校跡地の用地測量業務委託料 900万円
 - ② 二酸化炭素排出抑制対策事業委託料 500万円
 - ③ 総上、豊加美地区県営ほ場整備事業の計画調査委託料 1,100万円 ほか
これにより本年度予算総額は159億4,103万円となる。
3. 下妻市農業委員会委員の任命について議会の同意を求めるもの
市内各地から19名の農業委員会委員の同意を行いました。
4. 下妻市国民健康保険税条例の一部改正について
国民健康保険税について、所得算定に係る基準額を引き上げ、所得の少ない世帯への負担軽減措置を拡大するもの
5. 平成28年度下妻市一般会計繰越明許費について
会計年度内（平成28年度）に終わらない事業について翌事業年度に繰越す予算
 - ① 大宝小学校体育館大規模改修事業 1億3,838万円
 - ② 大形小学校体育館大規模改修事業 1億4,103万円 など

ひろしのコメント

一般質問の原稿を書いていて改めて感じたこと、思ったことを下記に記します。

いま日本は、世界に類を見ない急速な少子高齢化に突入しつつあります。このままの状態でもせずに突き進めば間違いなく、日本どころか私たちの住む下妻市も立ち行かなくなることは、多くのデータ等で証明されています。そのような非常に厳しい状況から、国では、地方の真摯な取り組みが日本全体への推進役となり、そして国を変えてほしいとの思いから『地方創生』と称して様々な施策に対して、多くの予算を投じていると私は理解しています。しかも今までの国の予算は、施策自体を国（中央官僚）が考えて、その施策を忠実に実行する自治体には予算を出しますよ！というものが多かったのですが、地方創生推進交付金については、地方独自で考えた先駆性のある取組・既存の交付金では対応できない取組について予算を出すものです。つまり自分たちの地域を本気になって創生しようと考え、実行する施策について国が応援しますよ。という考え方に大きく変わっています。これからは、住民が本気になって議論をし、創意工夫をした地域と「何とかなるさ」というような、お任せ主義の地域では、地域の未来図に雲泥の差が出てくると思っています。いつかは国が助けてくれるかも？という甘い考えは通用しないと見ています。なぜなら、そんな予算的余裕はどこにもないのですから。

私が今回、一般質問にて提案しました企業版ふるさと納税や地域通貨については、新しい施策及び先進地事例であり、私はまず、飛びついてみる、舞台に上げて大いに議論してみることが必要不可欠であると思っています。その施策が当市の考えと、うまくマッチすれば実行すれば良いし、違っていても本気になって考えたことは、決して無駄にはなりませんし、他の施策等で必ず生きてきます。「十年ひと昔」と以前は言いましたが、今や「三年ひと昔」、いや場合によっては「一年ひと昔」というスピードで世の中が急速に動いています。スピード感をもって物事にすばやく対応しないと、その時の状況は即座に変化し、結果は大きくマイナスに触れることにもなります。幸いにして下妻市の立地条件や観光資源、農業・経済環境については十分に高いポテンシャルを持っていると思っています。そして何より市民の皆様の下妻市を想う気持ちは、他のどの地域よりも優っていると思っています。それらを一つにつないで『オール下妻』で地域を活性化していけば、必ずこの厳しく、難しい超高齢化社会を乗り切っていける、いや未来の子供たちに乗り切らなければいけない。そう改めて思ったところです。

1. 企業版ふるさと納税について

問 絶好の機会ではないか

答 引き続き調査研修する

問 地方創生のためには産官

学などの各界各層の参画と協力のもとで取組む必要がある。本制度はその趣旨のもと企業側が地方創生に参画しやすとした制度であり、志のある企業が地方創生を応援する制度で、企業側にとっては税制上の優遇措置を受ける事ができる。また、企業側では企業イメージアップを図ることができ、地方自治体側では民間企業に地方創生の取組をアピールするための政策面のアイデアが必要で、地域の良き可能性を見直す絶好の機会でもある。この制度に関する当市の考え及び検討状況について伺う。

市長公室長 本制度の実施に当たっては、事業計画を策定し、地域再生計画として国の認定が必要となる。市が行う事業に対し企業の協力が前提なので協力頂ける事業の選択や相手企業への働きかけなどについて今後の状況を見守り対応したい。あの程度の研究は行っており今は

まだ中止、続行の判断はしていない。

2. 地域通貨の導入について

問① 地方創生のためには、地

方に入ってきたお金を如何に地域内で循環させるかが大切である。つまり補助金等で国から下妻市に入ってきたお金は、できるだけ下妻市内で循環させることが下妻市の活性化につながる。しかし、法定通貨である円には地域だけの限定性はないので市外に自由に出て行ってしまうことから地域の活性化に対しては、その効果が非常に小さくなる。これを解決する方法の一つとして地域での限定性を持った地域通貨の活用が先進地事例では見られるが、当市ではどのように考えるか。地域通貨というと地域振興券のような紙ベースでのイメージがあるが、現在ではスマホ・タブレットの利用により費用及び安全面において以前より格段に向上し導入しやすくなっている。

市長公室長① 地域通貨には、地域経済の活性化と地域コミュニティの活性化の両方を同時に実現することができ。まずは地域通貨の仕組みやその効果等を調査研究したい。

問② 地域コミュニティの活性化

ツールとしての地域通貨の可能性について伺う。活用例としては、ボランティア活動に参加する事や健康ウォーキングに参加する事によってポイントを加する事によってポイントを付与し、そのポイントを商店街などで活用できる。また、従来は市に依頼していた除草作業を地元住民が行う事によってポイントを付与し、市側では業者への委託費を削減できるなど知恵はいくらでも出せる。今までの行政依存を少しずつ脱却しながらコミュニティを醸成し、自治体の財政をわずかでも健全化に近づける効果がある。つまり市内の活動を地域通貨でつなぎオール下妻で下妻市を活性化するツールとしての可能性を伺う。

市長公室長② 地域通貨の様々なメリットについては理解しているが、地域通貨を発行管理する組織・システムの構築などの問題がある。導入については慎重に検討すべきである。

市長 企業版ふるさと納税、地域通貨などを通してこの地域を活性化すべきという考え方はある。まずは健康面からのポイント制度で調査開始した。その中で、できるか否かを判断したい。

砂沼荘の利用状況について

問 大きな叫びを聞くべき

答 改善点を反映したい

問 砂沼荘のリニューアルオ

ーブン後、様々な意見や苦情等が聞こえてくる。グランドゴルフの利用面積縮小により使いづらくなった、体操教室などで利用される様になってから一般の方たちの利用が、以前より制限されるようになった等聞こえる。これらの声は小さな声であるが、大きな叫びである事から伺う。また改修前後で発生した問題点の改善策について伺う。

福祉部長 以前より幅広く利用者層を広げた結果、駐車場拡張によるグランドゴルフのコースの不十分な点や、各種教室での利用増のため、カラオケの利用制限などの不満は社協より報告を受けている。今後はアンケートなどにより対応できる点は改善したい。また、アンケート結果や改善点については公表し、利用者の声を改善点として反映したい。

語る会通信が、記念すべき50号を達成しました。

2003年に千代川村議会議員として初当選させて頂いて以来、14年間、ほぼ休みなく発行を続けてこれました事も、読んで頂いています皆様のお陰と感謝いたします。

『毎回楽しみに読んでいます。』『分かり易くて、ためになります』など、本当に有難い皆様のお言葉や励まし等が、ここまで続けることが出来た、大きな力であったと改めて感謝しています。

100枚程度でスタートしました語る会通信でしたが、今では発行部数は約2000部になりました。これからも、市政の情報提供は勿論のこと、私の考え方など本紙を通して皆さんにお伝えしていきたいと思っています。今後ともよろしく願いいたします。

ほっと一息

『お父さん。似合っているじゃない』

『私のセンス、ばっちり。』

父の日に、娘からポロシャツをプレゼントされた。しかし、中々着る機会がなかったのと、中途半端な時に着るのがもったいないという気持ちもあり、ためらっていたのだ。

先日、長男の結婚式が仙台であったのだが、今がチャンスとばかりに、式の終わった翌日に、娘の前で着て見せたのだった。娘は、さぞご満悦で『ニコリ』と微笑んでくれた。せっかくバイトで貯めたお金を使わせてしまつて申し訳ないと思いつつも、着心地は最高であった。私の好きなピンク系のシャツを選ぶ所は、さすがによく見ているな。と感心した半面、気を付けなければと改めて思った次第である。

編集後記

『熟したテーマは向こうからやって来る。』

これは、(思考の心理学…外山滋比古著)に書かれた物事の考え方を比喻したものである。ある考え・あるアイデアが頭の中に浮かんだら、アルコール発酵のように一定期間、頭の中で(寝かせて、熟成させる)ことが必要という事である。更には熟成させている間は、その考えを一時的に忘れる事が最も大切であるとも。

その後、頭の中で熟成された良い考えは、ある時に向こうからやってくるというのだ。

比較的せっかちな私は、頭に浮かんだら即座に意見を述べたり、行動しがちであったが、最低でも一晩寝てからにしよう、間を置く大切さを知った。今、私の頭の中では色々な想い・考えが熟成されているが、どのように対面できるか非常に楽しみでもある。

プロフィール

下妻一高卒
中央大学理工学部卒
茨城市町村政策研究会会員
若者政治家養成塾(一期生)
税理士法人報徳事務所 勤務
ファイナンシャルプランナー
医業経営コンサルタント

編集発行 菊池ひろしと未来を語る会

代表

菊池 博

討議資料

下妻市鎌庭132-3

電話/FAX 0296-43-7703

HP <http://www.geocities.jp/meigensho1962>

E-mail meigensho0308@ybb.ne.jp